

第51回 いわき市民美術展覧会

陶 芸 の 部

令和4年2月18日～2月27日

午前 9:30～午後 5:00

いわき市立美術館

- 主 催** いわき市民美術展覧会運営委員会・いわき市教育委員会
いわき市文化協会・いわき市立美術館
- 後 援** (財)福島県報徳社・福島民報社・福島民友新聞社
いわき民報社・NHK福島放送局・ラジオ福島・福島テレビ
福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・FMいわき
- 協 力** いわき美術協会・いわき陶芸協会・いわき書道協会・いわきアート集団
いわき写真協会

審 査 講 評

この度は、市美展の審査にお招き頂き、また本展覧会が50年に渡り震災や水害、コロナ禍を乗り越えて開催されていることに敬意と感謝を申し上げます。審査にあたっては私のこれまでの陶芸家としての経験を基に慎重に審査させて頂きました。

いわき市長賞に輝いた伊藤由季子さんの作品はレリーフのみごとな彩磁の蓋物です。タイトルの「森の貴婦人」の名のごとく美しい心と高度な技術が融合した表現に心打たれる作品に仕上がっています。市議会議長賞を受賞された芳賀明美さんは波状の文様に筒状の陶管を挟み込むように造形された織部釉の「風と葉～陽春～」と題された作品です。動きのあるコンポーネント作品として面白い表現だと思います。教育委員会教育長賞は縄文土器にモチーフを得た津木野子南さんの「縄文曼荼羅宇宙壺」です。更にまた縄文文化を研究され縄文人のDNAを表現出来るようなダイナミックな作品を期待します。いわき市文化協会会長賞は吉田多喜子さんの「無釉焼締甕」です。大振りなゆったりとした壺です。ひじょうに吟味された土味がすばらしく豊かな表現を感じる作品です。福島県報徳社賞には荻野イチ子さんの「彩色花器」を選びました。ロクロと彩色のデザイン性がマッチした高い技術の壺だと思います。技法の追究のあまり陶芸作品としての「ゆとり」ある表現を見失うことがあります。更なる進化が期待される作品です。美術館友の会賞は「土に恋して やさしい風」と題された高橋晴美さんの作品です。いっけん描いたものかと思われるほど美しい花のグラデーションは練り上げ技法を上手く取り入れた作者の工夫が感じられる美しい陶板になっています。いわき陶芸協会賞は橋本栄子さんの「故郷の庭^{ふるさと}」です。花のレリーフと彩磁で表現された中皿ですが、釉調も美しく口辺の輪花が器にリズム感を与え楽しさが伝わってくるお皿です。ギャラリー磐城賞の吉川俊紀さんは花器「新雪の峰」と題された紺碧の美しい釉が掛かったダイナミックな作品です。釉薬のコントラストを生かした表現を追求してほしいと思います。アートスペース泉賞は若松太久さんの「練込みどんぶり鉢」です。練り込み技法の難しさもさることながら器としても楽しく食卓を飾ってくれることと思います。ガスワン賞には厚綿久美さんの「灰釉飛茶硯」です。自作されたと思われる自然灰が美しく流れ、掌にも納まり良く扱いやすいと思います。お抹茶を点てたときには茶席に映える良い茶碗だと思います。ひまわり信用金庫賞は佐藤康子さんの「蓮の葉組皿」です。使い勝手の良さそうな織部の組皿ですが、高台にもうひと工夫あると良いと思います。ギャラリー木もれび賞は阿部幸子さんの「象嵌馬酔木文様花器」です。素地のグラデーションと象嵌の組み合わせを文様として構成されると良い作品になると思います。耕楽窯賞は山崎京子さんの「泡・泡の不思議」です。陶リングの大小や組み合わせ、流れを工夫すると力のある表現になると思います。

コロナ禍で外出もままならない時代に出品者の皆さまの創意工夫と感性が表現された作品が展示されましたことに敬意を表し、心から御健康をお祈りいたします。

令和4年2月16日

審査員 菊 地 弘
(陶芸家)

陶芸の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	森 の 貴 婦 人	伊 藤 由 季 子	小名浜上神白
いわき市議会議長賞	風 と 葉 ～ 陽 春 ～	芳 賀 明 美	中央台
いわき市教育委員会教育長賞	縄 文 曼 荼 羅 宇 宙 壺	津 木 野 子 南	常磐上湯長谷町
《佳作》			
いわき市文化協会会長賞	無 釉 焼 締 甕	吉 田 多 喜 子	岡山県瀬戸内市
福島県報徳社賞	彩 色 花 器	荻 野 イチ子	泉町
美術館友の会賞	土に恋して やさしい風	高 橋 晴 美	内郷御台境町
いわき陶芸協会賞	故 郷 の 庭	橋 本 栄 子	内郷御厩町
ギャラリー磐城賞	花 器 新 雪 の 峰	吉 川 俊 紀	平下平窪
アートスペース泉賞	練込みどんぶり鉢セット	若 松 太 久	小名浜岡小名
ガスワグ賞(常磐共同ガス株式会社)	灰 釉 飛 茶 砵	厚 綿 久 美	平
ひまわり信用金庫賞	蓮 の 葉 組 皿	佐 藤 康 子	明治団地
ギャラリー木もれび賞	象 嵌 馬 酔 木 文 様 花 器	阿 部 幸 子	泉玉露
耕 楽 窯 賞	泡 ・ 泡 の 不 思 議	山 崎 京 子	内郷綴町

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞及び佳作等は審査員が選考します。

No.	賞	題 名	氏 名	住 所
1	招 待	花 器 磐 梯 II	山 川 博 士	平赤井
2		コ ロ ナ 巢 ご も り	渡 辺 好 美	泉ヶ丘
3	招 待	白 釉 鉢	新 谷 文 代	大久町大久
4		線 文 扁 壺	佐 藤 淑 子	泉ヶ丘
5	招 待	希 望 の 花 園	秤 屋 苑 子	四倉町上仁井田
6	招 待	古 代	平 子 貞 男	小川町上小川
7		1 / f ゆ ら ぎ	檜 村 歩	平下平窪
8		花 器	山 内 勝	平赤井
9		水 差 し	小 川 節 子	内郷綴町
10		白 織 の 詩	鈴 木 一 恵	平赤井
11	招 待	釉 裏 紅 搔 落 文 大 鉢	樋 田 和 代	小名浜下神白
12		織 部 花 器	山 野 辺 よ ね 子	四倉町
13		楽	鈴 木 浩 実	小名浜岡小名
14		微 酔 い	長 久 保 俊 子	勿来町

No.	賞	題 名	氏 名	住 所
15		桃 花 醉	増 井 やよい	平
16		織 部 四 方 皿	木 村 久美子	四倉町上仁井田
17		dress	兜 森 千恵子	小名浜大原
18		焼 締 釉 滝 花 入	阿 部 新 一	錦町
19		凍 露 . 冬	渡 邊 芳 郎	鹿島町米田
20	議 長 賞	風 と 葉 ~ 陽 春 ~	芳 賀 明 美	中央台
21	市 長 賞	森 の 貴 婦 人	伊 藤 由季子	小名浜上神白
22	教 育 長 賞	縄 文 曼 茶 羅 宇 宙 壺	津 木 野 子 南	常磐上湯長谷町
23	招 待	織 部 尺 3 寸 大 皿	児 玉 良 介	常磐関船町
24		器	吉 田 充	中央台
25		織 部 扇 鉢	横 須 賀 政 雄	三和町上永井
26		初 事	佐 藤 建比古	三和町下市萱
27	佳 作	花 器 新 雪 の 峰	吉 川 俊 紀	平下平窪
28		初 め 器 若 草	小 泉 洋 一	泉玉露
29		手 桶	増 井 俊 一	平
30		花 器 雪 景 色	鈴 木 信 子	好間町北好間
31	佳 作	灰 釉 飛 茶 碇	厚 綿 久 美	平
32		天使たち(メビウスの輪)	米 山 努	勿来町
33		蛸 唐 草 文 猪 口	石 井 光 榮	内郷高野町
34		捻 れ 根 っ こ	遠 藤 靖	渡辺町田部
35		清 流	松 本 光 司	自由ヶ丘
36		古 信 楽 自 然 釉 壺	新 井 清 之	中央台
37	佳 作	練込みどんぶり鉢セット	若 松 太 久	小名浜岡小名
38		ラ イ フ - い の ち -	住 谷 弘 文	平泉崎
39	佳 作	無 釉 焼 締 甕	吉 田 多喜子	岡山県瀬戸内市
40		茶 わ ん	相 澤 大 康	小川町塩田
41		☺去るですが。なにか?	佐 藤 界	明治団地
42		春 よ こ い	高 橋 ちづ子	中央台
43		浅 葱 色 の 器	波 立 恵 子	小名浜玉川町
44		花 入 れ	伊 藤 陽 子	泉町滝尻
45		い わ き の 灯	伊 藤 弘 子	平北白土
46		花 と 虫 た ち の 宴	菊 田 君 江	小川町柴原
47		花 入 れ	佐 藤 胤 信	平下平窪
48	招 待	花 生 け	横 山 猛	草木台
49	招 待	東 方 不 敗	佐 藤 俊 之	泉ヶ丘
50	招 待	い そ ぎ ん ち ゃ く	箱 崎 り え	平中神谷
51		プ ラ ン タ ー	松 本 文 勝	泉町滝尻

No.	賞	題 名	氏 名	住 所
52		削り模様花器	佐々木 康 行	平中平窪
53		脳のひきだし	稲 葉 一 実	中央台
54		ラピスラズリ	青 木 有 紀	郷ヶ丘
55		笑 響	清 宮 千 秋	金山町
56		風 船	井戸川 保 子	郷ヶ丘
57	佳 作	象嵌馬酔木文様花器	阿 部 幸 子	泉玉露
58		未知（道）	瀧 川 和 徳	好間町上好間
59		水 紋 鉢	大 平 康 子	小名浜大原
60		色 三 花	熊 谷 康 男	好間町中好間
61	佳 作	蓮の葉組皿	佐 藤 康 子	明治団地
62		実	平 子 タキ子	小川町上小川
63		象嵌海石榴	蕪 木 良 子	平北白土
64		草花文組皿	國 分 宣 子	鹿島町米田
65		寂静への住処	関 口 武 司	中央台
66		春のひかり	鈴 木 まり子	内郷高坂町
67		真 芽	永 山 満 久	平南白土
68	佳 作	土に恋して やさしい風	高 橋 晴 美	内郷御台境町
69		ただいまキャリー	佐久間 静 子	常磐上湯長谷町
70		均 窯 釉 花 器	遠 藤 文 夫	平下神谷
71		虎斑竹（焼締め）	茂 木 秀 夫	平上荒川
72		面 シ ー サ ー	片 寄 知 春	四倉町大森
73		水均流れ面取花瓶	武 藤 忠 晴	石森
74	佳 作	彩 色 花 器	荻 野 イチ子	泉町
75		雅	鈴 木 孝 子	内郷白水町
76		ふ く べ の 壺	志 賀 シメ子	平南白土
77		いわきブルー組皿	山 崎 淳 司	田人町南大平
78	佳 作	泡・泡の不思議	山 崎 京 子	内郷綴町
79		アラベスク文壺	会 川 靖 子	四倉町上仁井田
80		西 陣 の 夕 日	矢 内 けい子	泉ヶ丘
81		お花のお皿	草 野 実 咲	東京都町田市
82	佳 作	故郷の庭	橋 本 栄 子	内郷御厩町
83		西 海	岩 崎 英 明	平
84		筒 花 入 れ	滝 波 昭 男	常磐藤原町
85	招 待	青灰釉二色打ち深鉢	新 谷 辰 夫	大久町大久
86	招 待	ドット	鈴 忠 壽	鹿島町走熊
87	招 待	象嵌彩夕に佇む	近 藤 学	四倉町細谷
88	招 待	innocent blue	近 藤 賢	四倉町細谷

いわき市民美術展覧会陶芸の部歴代三賞受賞者一覧表

回数	年度	市長賞	議長賞	教育長賞
24	平成6	吉田重信	坪内亜希子	井上征子
25	7	伊達義道	森大岳	太田太
26	8	星尚子	根本寿恵子	井上征子
27	9	古樫冬子	平子タキ子	和知キミ子
28	10	星尚子	中島亨	平子貞男
29	11	平子貞男	箱崎りえ	水野山翠
30	12	斉藤浩子	児玉良介	水野山翠
31	13	鈴木忠壽	菅原洋子	亀田大介
32	14	佐藤俊之	鈴木忠壽	川口江里
33	15	大谷巖	佐藤俊之	鈴木忠壽
34	16	櫛田昌弘	佐藤俊之	加藤由美
35	17	甲高幸男	箱崎りえ	⑬ ⑬ ⑬ 商会
36	18	菅野征市	樋田和代	鈴木康美
37	19	菅野征市	志賀文男	市川陶之臣
38	20	大谷巖	樋田和代	箱崎りえ
39	21	横山猛	佐藤優美	和地二郎
40	22	山川博士	平子貞男	緒方二千夫
41	23	大平登美子	塩山久子	山川博士
42	24	山川博士	樋田和代	伊藤由季子
43	25	佐藤界	石井光榮	鈴木ゆかり
44	26	小川節子	横山猛	箱崎りえ
45	27	鈴木ゆかり	増井やよい	荻野イチ子
46	28	樋田和代	新井節子	蕪木良子
47	29	芳賀明美	阿部新一	荻野イチ子
48	30	伊藤由季子	荻野イチ子	佐藤淑子
49	31	横須賀政雄	横山猛	芳賀明美
50	令和2	高橋雅仁	山崎京子	阿部幸子

註 陶芸の部は第24回市美術展から開催

